

Spring 2026

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

春号

2026
Spring





興味津々!

器の復元ってどうやるの？



埋蔵文化財センターの知られざるお仕事内容「土器の復元」(復原と表記されることもあります)。「聞いたことはあるけど、どうやってやるの?」「見たことない!」という方のために、富士宮市埋蔵文化財センターの職員が取り組んでいる復元手順を詳しくご紹介します。

1 まずは接合！ 破片同士を合わせる

市内の遺跡から発掘された土器は、完全な形ではない場合がほとんど。そのため、出土した土器片の中に同一個体のもがないか確認していきます。「文様」「形」「厚み」「胎土」などをヒントに仲間分けしていき、土器片同士の割れ目がピッタリと接合するか、実際に合わせる作業を気長に繰り返します。

中には数個しか接合せず、完形がイメージできないものもありますが、接合した結果、大きな土器の形が現れる場合もあります。



右のかたまりも、文様を手がかりに4つの破片を接合したもの。断面を合わせるとピタッという手応えがある。

2 欠けている部分を 石膏で補完する

1で接合したものの中で、接着面が少なかったり不安定な形で壊れやすかったりするのは、石膏を使って補強します。また、ほとんど完形に近づいているものも、部分的に欠けていれば石膏を入れて形を整えます。石膏は水で溶かして使いますが、粘度の調節や、乾かないうちに作業を終わらせるスピードも大切で、神経を使う作業です。



石膏を入れ終わった状態の土器。



薄手の土器の復元は慎重を期す。

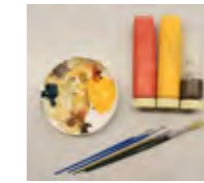


布テープなどで調整した曲面をガイドにして石膏を入れる。完成形をイメージするのが大切。

3 色付けをして リアルに復元

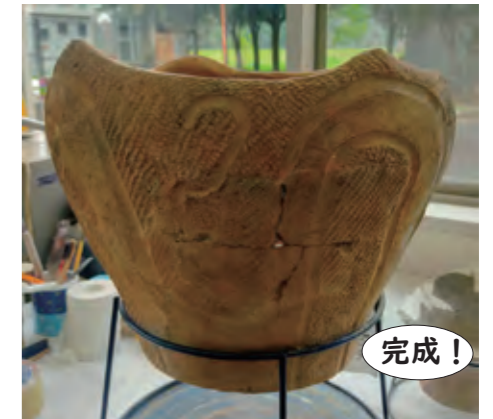
2で完成した土器の石膏の部分に、水彩絵の具を使って色を付けます。いくつも色を重ねて、土器と石膏部分の見分けがつかないくらいリアルに着色します。

色づけまで完了した土器は、収蔵庫で保管されたり、展示室でみなさんの目に触れたりします。どこまでが復元で、どの部分が本物か、じっくりと見極めてください。



絵の具を混ぜて重ねてリアルな色を追求。

※施設によっては、出土した部分と、復元した石膏部分との違いがわかりやすいよう、あえて着色しないこともあります。



完成!

誰かに話したくなる!

考古学トリビアの壺

土器片を再利用!?

遺跡から出土する土器片には、割れた土器を再利用したと見られるものがあります。破片を丸く削り、穴を開けたり溝を彫ったりした『土器片錘』です。漁網の錘として使っていました。当時の人も“もったいない精神”を持ち、壊れたものを実用品に転用し、SDGsを行っていたのですね。



網の周りに錘を付ける。



元の土器の文様が見える錘。(滝戸遺跡出土)



2026 春号のプレゼントクイズ!

一体ど~れ?

土器を接合・復元する際には、破片同士をくっつけるために接着剤を使います。一般的に遺物の修復に使われている接着剤は何でしょう?

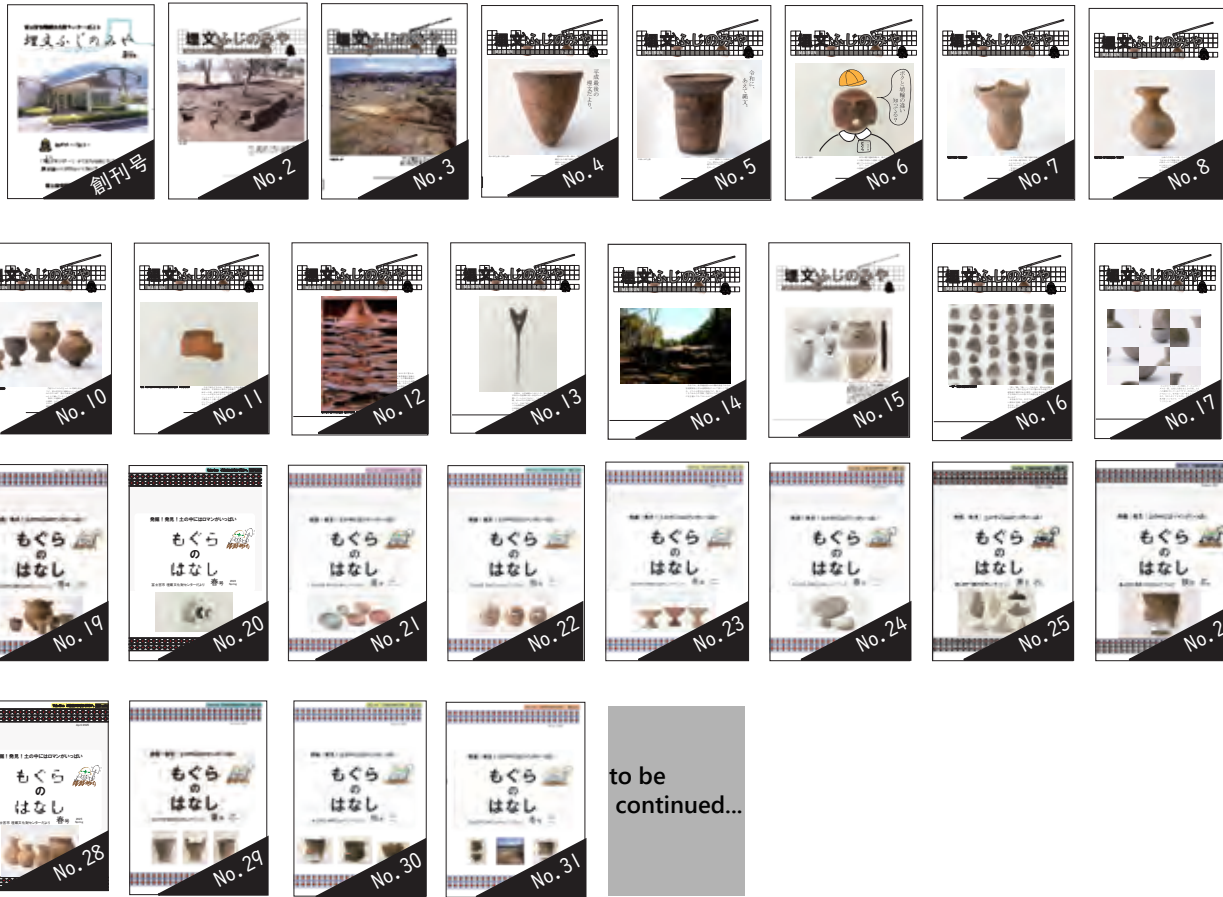
下記の選択肢から選んで、スタッフに伝えてください。正解した方には、埋文グッズを差し上げます!

- a. アロンアルファ®
- b. セメダイン®
- c. うるし



バック ナンバー

既刊号は
富士宮市のHPで
公開中



富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

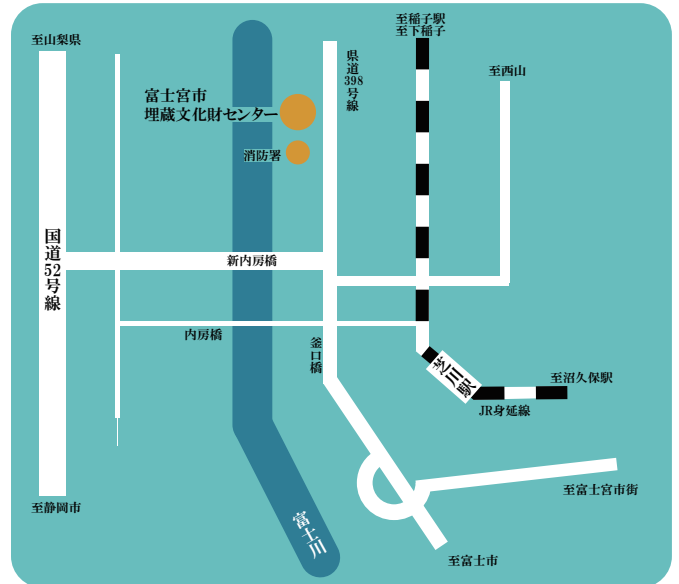
展示室 平日
開館日 * 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）
* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより
もぐらのはなし 春号（通算 vol.32）

令和8年4月
編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター